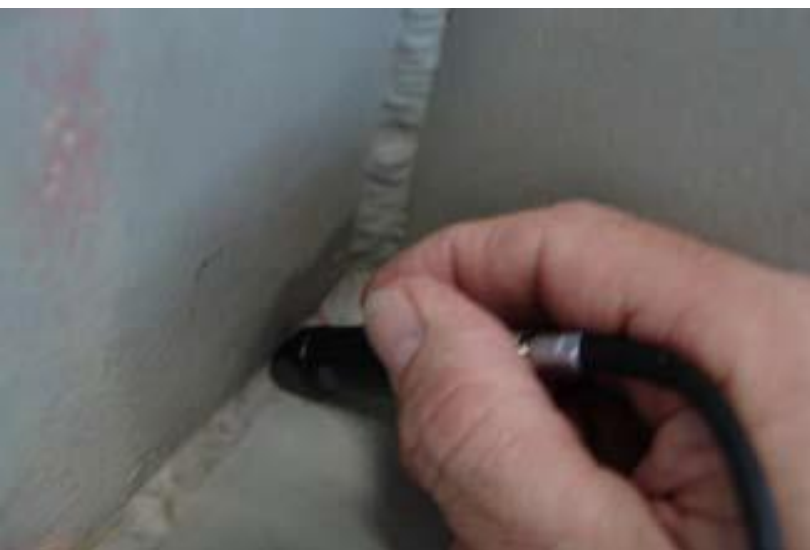


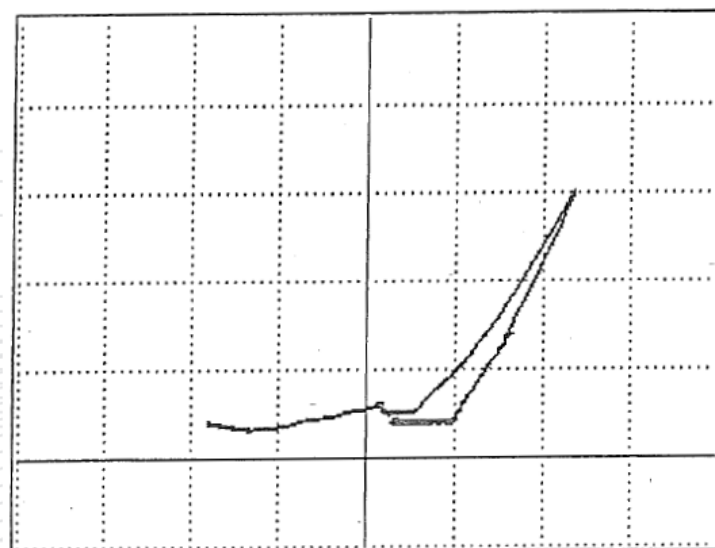
磁性材船体の溶接シーム検査



BAL 73-1溶接シームプローブはブリッジ回路を用いた交差巻エアコアコイルを有します。粗い表面構造を持ったラッカーコーティング下の溶接シームを手動で検査する目的で開発されました。交差コイルにより粗いシームに由来するノイズ信号をよく低減し、リフトオフ効果を最小化します。プローブは100 kHzから1 MHzの周波数で用いることができます。検査面に存在する細孔、割れと不完全な接合を検出し、例えば検査部位が厚いコーティングに覆われていても発見することが可能です。

注意事項:

ELOTEST M2V3またはM3を用いて溶接シームを検査する際にはブリッジプローブケーブルが必要です。また、“Probe Input”を“Univ. Bridge”に設定する必要があります。



Frequency:	100.0 kHz	Band Width Limit:	High
Phase:	154.5 °	X-Offset:	0
Amplitude:	100 %	Y-Offset:	0
Preamplifier:	30 dB	Probe Input:	Univ. Bridge
Main Amp:	34 dB	Display:	y/x positive
Y-Spread:	0 dB	Record:	on
Total Gain:	64/64 dB	Record Time:	20s
Lowpass:	20.0 Hz	Grid Width:	40 dots
Highpass:	static	Intensity:	5
HD-Filter:	0	Gate Mode:	Circle
HF-Attenuator:	off	Timebase:	5ms
		Persistence:	0.2s/200kHz
		Dotjoin:	off
		Audio Alarm:	off

ローマン・ジャパン株式会社

144-0051 東京都大田区西蒲田7-26-11 Flos蒲田10F

● Tel: 03-6715-9007 ● www.rohmann.co.jp

● Email: sales@rohmann.co.jp

渦流探傷機器及びシステム（溶接シーム探傷）

磁性材船体の溶接シーム検査

対応機種

ポータブル渦流探傷器M2V3またはM3



BAL 73-1絶対値式プローブ

アプリケーション:

溶接シームと粗い表面の手動検査。ラッカーコーティング下の溶接シーム検査に最適。溶接ビードに由来するリフトオフ効果のノイズ信号をよく低減する。

プローブシステム:

交差巻エアコアコイル、ブリッジ回路

周波数帯域: 100 kHz – 1 MHz

有効幅: 約2 mm

浸透深さ: 非常に浅い

技術データ

ケーブル: EKB-2-024

ハウジング: プラスチック (Delrin®)

直径: 16 mm

重量: 15 g

